

「九州ウェブサイト大賞2008」表彰サイト

1 最優秀賞 (1点)

サイト名	実績等
<p>「クロスロードふくおかー福岡を知る、食す、観るを満載ー」</p> <p>http://www.crossroadfukuoka.jp/</p> <p>(社団法人 福岡県観光連盟)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・福岡県の観光情報サイトとして福岡県の観光に関する情報を幅広く紹介しているサイト。 ・動画や写真情報が豊富で、季節ごとのお勧めやブログなどきめ細かい。美しく、見やすいデザインで統一され、かつ操作性を兼ね備えた観光ポータルサイト。英語、韓国語、中国語での利用も可能となっており、福岡県の魅力をアピールしている点が高く評価。 ・県内のイベント情報の提供や、観光大百科として観光地等の検索も可能となっており、福岡に観光に訪れる人は、このサイトを調べればまず間違いなく望む情報がゲット可能。 ・福岡県の観光情報HPとして県内外の方々に福岡県の魅力をPRするとともに、県内のイベント情報を数多く掲載してイベント誘客を図っているなど地域に密着した情報発信により地域の活性化に貢献。

2 優秀賞 (5点)

サイト名	実績等
<p>「福岡県庁ホームページ」</p> <p>http://www.pref.fukuoka.lg.jp/</p> <p>(福岡県)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・福岡県の行政情報を提供しているサイト。 ・コンテンツデザインが統一されており、利用者が使いやすい作り。また、音声読み上げ、文字の大きさ選択、英語、韓国語、中国語等ウェブアクセシビリティを考慮した見やすいサイト。また、動画、申請書のダウンロードなど各所に細かい配慮があり、全体的に優れたサイト。メルマガ会員も募るなど全体的にバランスよく作成されている点が高く評価。 ・検索にはGoogleの優れた機能を採用。その他、新着情報発信機能(RSS機能)、地図情報(Google-Map)活用など、機能的に非常に充実しており、利用者が使いやすく、かつ有用で利便性向上に寄与。
<p>「福岡ブランド.com(ふくおかブランドドットコム)」</p> <p>www.fukuokabrand.com/</p> <p>(福岡県商工会連合会)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・県内の自社製法等に「こだわり」を持つ選定企業等を動画映像で紹介する全国発のブロードバンド対応型動画紹介サイト。 ・トップページがよく整理され、写真が多く、情報内容も分りやすい。動画や写真情報が豊富であり、デザイン、操作性に優れている。マグロ、柳川の有明ものなど紹介されたコンテンツが魅力的で企業と消費者を結ぶコミュニティサイトとして地域活性化に貢献している点が高く評価。 ・優れた県産品を持つ企業の「創業以来のこだわり」等を代表者自らが出演し語る動画映像と、商品等を愛用する消費者の声を紹介し、企業と消費者のコミュニティの場を模索。単なるインターネット通販ではなく、消費者、企業、商工会等との連携・協力による、新しいコミュニティサイトを目指しており、県産品を愛する福岡県のブランド育成の気運を醸成。また、姉妹サイトである観光サイト「福岡よかとこドットコム」との一体的な取組により、地域活性化に貢献。

<p>「福岡・博多の観光案内サイト「よかなび」」 http://yokanavi.com/ (福岡市)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・福岡へのビジターに対して、行政や民間企業、個人などさまざまな人々が観光案内するサイト。 ・コンテンツの動画のレベルも高く、デザイン等も優れている。色使いや、写真の配置のバランス、レイアウトも優れており、目的に応じて色々な観点から、観光地を探せるように工夫されている点が高く評価。 ・コンテンツは、①基本情報（観光地、祭り、宿泊、食、利便施設）②コンシェルジェ（さまざまな分野に詳しい個人やグループが独自の情報を提供）③イベント情報や観光ニュース④掲示板機能（地元住民や観光客などがお勧めの場所を推薦したり、疑問に思うことを質問し互いに答える）などがあり、観光客の多様なニーズに対応。 ・行政・民間企業・個人からの情報発信を有機的に結び付けることにより、より効果的な情報発信を実現し、観光集客につなげるなど地域経済に対し貢献。
<p>「伊万里市立黒川小学校ホームページ」 http://www2.saga-ed.jp/school/edq14305/ (伊万里市立黒川小学校)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・佐賀県伊万里市立黒川小学校の情報サイト ・学校での出来事を中心としたブログコンテンツが幅広く、かつ充実。また、デザイン、動画、SNSによる双方向性等多くの面でしっかり作成。更に、オリジナルソングの制作等ユニークな一面もある。学校サイトとしては地域と学校の模範とも言える。サイト管理人の方が相当努力して作成されている点も併せて高く評価。 ・コンテンツの内容は、伊万里市立黒川小学校が、地域に開かれた学校であることを紹介し、黒川小学校の特色ある活動のひとつ「学校サポーター事業」の様子を発信することで、地域と共に子ども達を育てていく姿勢がうかがえる地域貢献型サイト。
<p>「大津町ホームページ」 http://www.town.ozu.kumamoto.jp/ (大津町)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・大津町の行政情報を提供しているサイト。 ・最初は、町民の有志による作成だったことに驚かされるサイト。自治体のウェブサイトとしては情報を活用するため、探したい内容を検索しやすく、操作性が良く、利用者の立場で作成。ウェブアクセシビリティ等も配慮され、優れている。子育てカレンダーは便利でアクセス数も多く、多言語対応もされている点も併せて高く評価。 ・情報入口を4つに分け、各々テーマカラーを設定し、直感的に居場所を分かりやすくと同時に、分類の項目を整理。ライフシーン、キーワード検索等でも情報にたどり着けるように作成。また、電子申請など各種情報について、携帯版のホームページから検索もできる取り組みが高く評価。町のキャラクターである「からいもくん」を使った町紹介は親しみやすく遊び心を持ったページ。毎日、写真入りで紹介する「今日の給食」のコーナーもなかなかユニークな取り組み。 ・バナー広告事業では、今年度からホームページを持たない各種団体、事業所を対象に規定ページ(1,000文字以内、掲載写真3枚以内、添付ファイル3MB以内)で作り込みバナー広告に掲載できる新たなサービスを展開するなど、地域との結びつきを重視し、地域活性化に貢献。

(2) 入賞 (5点)

サイト名	実績等
<p>「ふくおか経革広場」 http://fukuoka.keikakuhiroba.net/ 福岡県中小企業振興センター</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・福岡県下の公的団体・支援企業と連携して情報発信する地場企業のIT化支援ポータルサイト。 ・動画の活用などビジュアルな情報が満載。また、地域ブログ（よかよかブログ）との連携等工夫されたサイト。県内企業向けに支援策を紹介するだけでなく、県内のIT支援化支援企業、注目企業などの紹介を行い、県外に情報発信し、地域企業の活性化に貢献。中小企業向けにありそうでなかったサイトとして高く評価。 ・特に「人」にフォーカスして情報を発信しているので、コンテンツの面白みもあり、継続した情報発信で地域企業の活性化に寄与。
<p>「佐世保観光情報「SIGHT」」 http://www.sasebo99.com (財団法人 佐世保観光コンベンション協会)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・佐世保の観光情報を発信するサイト。 ・全体的に見やすく整理され、ビジュアル的で分かりやすいサイト。佐世保バーガー（ハンバーガー）の大きさをはかってみせるなど、引き込み方が上手でおもしろい。佐世保観光全体として、他のPR手段（ポスター、パンフ等）との統一のとれた高いデザイン性も高く評価。 ・佐世保の街が持つアメリカ文化漂う港街のイメージを伝えられるよう、トップを町全体のイラストで表現した工夫。何度開いても飽きないよう、情報のリンクボタンである個別のイラストを動かし、キャンペーンなど観光イベントを開催する際は、関連する素材の動きに変化をつけ目立たせている。 ・イベント情報、飲食店情報（「佐世保バーガー」については、認定店情報を詳しく掲載し、人気）、ホテル情報を充実させ観光客増につなげ、地域産業の振興に貢献。
<p>「新上五島町ポータルサイト みっか」 http://kamigoto.jp/ (新上五島町地域活性化推進協議会事務局)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・町民ブログ（みてみっか）、インターネット販売・ブログ（こうてみっか）、観光動画マップ（いってみっか）、学校ブログ（町内全小・中学校24校参加）、音声・画像・動画配信・TV電話を有する10万人のWEB町民獲得を目指す地域SNS）で構成されたサイト。 ・島内の全小・中学校や町民による参加型ブログが構築されており、子供からお年寄りまで、町全体の情報発信が実践。また、優しいデザインによる統一感も感じさせる。観光から自治、小・中学校のサイトの網羅など離島である五島の情報発信の形としてITを使った地域活性化の新たなモデル的な取り組みが高く評価。
<p>「団塊世代情報サイト 50+（フィフティプラス）大分」 http://www.50plus-oita.com/ (渡辺 隆司)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・今、社会的に注目されている団塊世代をテーマにしたサイト。 ・団塊世代をテーマにした情報発信は珍しく、創意工夫あふれるコンテンツが印象的なサイト。SEO（検索エンジン最適化）対策も考慮されている。団塊世代をターゲットにした役立つ情報が満載。イベントの仕込みなどもあり、地域の同世代のコミュニティの活気が感じられる。 ・個人が運営しているサイトであるが、団塊世代に有用な情報の発信（地球環境、スポーツ振興、仕事、健康、趣味、おしゃれ）。団塊世代の活躍を紹介することにより、アグレッシブなやる気を起こさせ、同世代の地域コミュニティ活動の支援に貢献。
<p>「ツーリズムおおいた」 http://www.we-love-oita.or.jp/ ((社)ツーリズムおおいた)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・大分県内の各市町村の観光担当課をネットワークで結び、ツーリズムおおいたホームページに各市町村のイベントや観光スポットの投稿ができるような仕組みで運営しているサイト。 ・マスコットキャラクターを用い、親しみやすいサイトとなっている。地域情報の分かりやすいサイトとして、デザイン、操作性に優れており、写真や動画もうまく活用されている魅力あるサイト。水に特化した作りは写真の出来が素晴らしく成功していると言える。大量のコンテンツではないが団体運営のHPとしては満足いく量と質と言えることが高く評価。

3 九州テレコム振興センター会長賞 (1点)

サイト名	実績等
<p>「マリンワールド海の中道 (公式サイト)」 http://www.marine-world.co.jp/ (海の中道海洋生態科学館 (マリンワールド海の中道))</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・水族館の営業情報の発信だけに留まらず、水族館を一つの社会教育機関 (博物館) ととらえ、運営されているサイト。 ・福岡県唯一の水族館として、多言語対応 (英語・中国語・韓国語) にも取り組み、詳細情報を子供にも分かりやすい方法で伝えている。 ・この水族館のようにWebサイトを教育コンテンツとして展開している水族館・博物館は、日本国内でも極めて少なく、高く評価。 ・館内にある様々な生物や水槽、展示、働く人などの情報を広く学校教育や社会教育などの生涯学習に活用していただくことを目指して構築。このため、トップページに「教育と研究」という入り口を設置。 ・また、地域の学校・公民館・市民と連携して、テレビ電話やインターネットを使った遠隔授業、PDAや携帯電話などの小型情報端末を活用した学習連携、Web学習教材制作、九州内や福岡市内の博物館との相互連携などに取り組み、これらの報告を兼ねたWebサイトを構築や運営。ICTを積極活用した情報発信と交流で地域に貢献。

4 審査委員特別賞 (2点)

サイト名	実績等
<p>「みやざき ひむか学ネット」 http://www.miyazaki-c.ed.jp/himukagaku/ (宮崎県教育研修センター)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ふるさと宮崎を学ぶ教材として開設されたサイト。 ・子供への教育を目的としているため、分りやすく、使いやすい。宮崎をわかりやすく学ぶ教材として活用できるサイト。教育的観点だけでなく、この種の情報発信は各地域を魅力的に感じさせる取り組みが高く評価。 ・子どもたちに、郷土の素晴らしさを実感させ、郷土愛や郷土への誇り、郷土に貢献する心をはぐくみ自分に対する自信や誇り、将来への夢や希望を育てることをねらいとして作成され、「自然・産業」「歴史・文化」「先賢」と大きく3つに分類して教材として提供。「郷土かるた」「郷土民話」「郷土に関するクイズ」など子供以外に大人でも楽しめる。
<p>「知名町立下平川小学校」 http://www3.synapse.ne.jp/yushikya/ (知名町立下平川小学校)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・知名町立下平川小学校の情報サイト。 ・楽しい学校行事や日々の学校生活の様子が伝わってくるサイト。毎日更新される更新頻度で、リアルタイムの情報発信を行っている。小学校からの情報発信とともに、ウミガメ、花と地域の特色をアピールする沖永良部のファンサイトになっている項目の分け方がしっかりしているため、全体的に見やすく、かつ検索が容易。条件不利地域である離島の利点を最大限活用した島の魅力発信を意識したウミガメの保護とウミガメに関する学習のページ「ユッシーくんのウミガメ教室」の取り組み等が高く評価。 ・沖永良部の魅力を伝えるブログ、各学年のブログ等を設置し効果的に活用。児童も学校での出来事や給食の感想など情報発信。全国の各地の小学校ともブログによる交流を実践しICTリテラシーを高め、情報モラルについても学習。平成19年度からは、修学旅行時にブログを活用したリアルタイム情報発信も行い、保護者や地域の方々の反響も大きい。 ・学校とPTAとの双方向の情報交換の場としても活用され、児童や地域住民のICT啓発活動になり、地域住民のICTリテラシー向上に貢献。